

# Google を活用した「働き方改革」、劇的ビフォーアフター！

愛川町立中津第二小学校 校長 佐野 昌美

キーワード：働き方改革、保護者支援、学校運営、Google、メール

## 実践の概要

Google が無償提供している「G Suite for Education」の機能を活用して、教職員の働き方改革に取り組んだ。具体的には「Google フォーム」による保護者からの欠席連絡やアンケート調査、ペーパーレス化等。結果、教職員一人あたりの時間外勤務が月平均 20 時間縮減した。

### 1. 目的・目標

#### メール機能×Google 機能＝働き方改革

誰もがスマートフォンを持つ時代。そこで、情報の伝達はメールを積極的に活用。メールを配信すれば、教職員を集めて会議を開く時間や、保護者への文書印刷や配付等を省くことができる。

さらに、メールで以下の Google の機能を活用したデータへのアクセスを指示すれば、いつでもどこでも誰でも簡単に作業ができ、働き方改革が進むと考えた。

目標は月の時間外勤務を 45 時間以内にすること。

- ◆Google フォーム：アンケートを簡単に作成しアンケート結果を自動集約する。
- ◆Google スプレッドシート：Excel のような表計算が行え、複数人が同時に編集できる。
- ◆Google ドライブ：写真・文書・音楽・動画など、さまざまなデータを容量無制限で保管できる。

## 2. 実践内容

### 2.1 「Google フォーム」による保護者からの欠席連絡

「Google フォーム」で作成した「中二小欠席等届け」フォームを保護者にメール配信（写真 1）。

保護者はこのフォームをスマートフォンに登録。必要時にこれを使って学校に欠席・遅刻・早退の連絡を行う。

#### 【ビフォー】

欠席連絡は連絡帳に書いて学校に報告することになっていた。

写真 1 欠席届けフォーム

しかし、朝から欠席連絡の電話が入り、教員が対応。始業前の貴重な時間が奪われていた。

#### 【アフター】

自動で一覧表示された欠席者を、職員室のモニターで確認することが教員の朝一番の習慣に（写真 2）。

保護者の電話連絡は皆無となり、教員は授業準備に専念できるようになった。

また、学校全体の欠席者状況を一目で把握できるようになった成果も大きく、登校渋りの早期対応も可能となった。



写真 2 欠席連絡を把握する教員

保護者からは「朝の忙しい時間、連絡帳に連絡事項を書いて、近所のお宅に届けてもらうよう訪問しなくてよいので助かる」「前日の欠席連絡フォーム送信も通勤電車の中からの送信もできてとても便利」と好評を得ている。

### 2.2 「Google フォーム」で各種アンケートの集約

運動会や避難訓練など行事が終わるたびに行う教職員へのアンケート調査を「Google フォーム」で作成して実施。結果は全て下のように自動集約される（写真 3）。

#### 【ビフォー】

担当者がアンケート用紙を印刷して教職員に配付。回収したアンケートをもとに、Excel でデータ処理と意見の打ち込みを行っていた。

そして、アンケート結果の資料を印刷して、再び教職員に配付していた。

#### 【アフター】

アンケート結果は全て自動集約されるので、上記の作業全てが無くなった。しかも、データはカラフルで見やすく、ペーパーレス化が進んだ。



写真 3 アンケート結果

### 2.3 「Google スプレッドシート」を活用した

#### スムーズなボランティアの導入と運用

「水泳学習の見守りボランティア」や「ミシン学習のボランティア」の募集をメール配信で保護者に依頼。賛同する保護者はスマートフォンで登録。

次にボランティア登録をした保護者のみに、シフト表にアクセスできる URL をメール送信。

シフト表は次ページのように「Google スプレッドシート」で作成しているため、複数の教員が同時に書き込むことが可能となっている（写真 4）。

1		2・3校時		4・5校時		6
2		1年		3年		
3	例					
4		6年		4年		
5	6月4日(火)	佐藤	鈴木	高橋	田中	
6		1年		2年		
7		6年		4年		
8	6月5日(水)	伊藤	渡辺	山本	中村	
9		4年(中止)		5年(中止)		
10		6年		4年		
11	6月6日(木)	小林	山田	加藤		
12		1年		2年		
13		6年		4年		

写真4 スプレッドシートで作ったシフト表

【ビフォー】

ボランティア依頼の文書を作成して、保護者に配付。数日後に切り取り線から切り離れた「ボランティア登録書」を回収。後日、改めて「ボランティア説明会」を開催し、ボランティアのシフトを組んでいた。

急にボランティアが来れなくなった場合や、天候不順で水泳学習が中止になったときなど、各方面への電話連絡に煩わされていた。

【アフター】

メール配信でボランティアの依頼と登録を行うのでペーパーレス。しかも、即時にボランティアの登録が完了でき、ボランティアのシフトを組むための会合が必要無くなった。さらに、水泳学習が中止になった場合も、学校はシフト表を朱塗りするだけ。ボランティアへの電話連絡も必要無くなった。

ボランティアの保護者も学校も「Google スプレッドシート」のシフト表を閲覧しながら、スムーズに各種教育活動を行うことができた。

2.4 「Google ドライブ」による会議資料の

ペーパーレス化と共有化

教育計画の冊子や教科年間計画、職員会議資料等は全てPDF化して「Google ドライブ」に保存。そして、教職員にこのドライブの保存先 URL をメールで送信。

教職員はこの URL から資料データを各自のスマートフォンやタブレットにダウンロードし、資料の共有化を図った(写真5)。



写真5 スマホで資料の共有化

に綴じ込む。そして、年度末には一斉にシュレッダー処理をして廃棄を行っていた。

【アフター】

会議は全てペーパーレスで行うようになり、教務の仕事が大幅に削減できた。また、会議資料のデータを各自のスマートフォン等で共有し、自宅や出張先においても会議資料が閲覧できるようになった。

セキュリティ上も、紙の資料を手帳に挟んで持ち歩くことよりも、指紋認証や顔認証を要するスマートフォンの中に資料がある方が安心である。

3. 成果

Google の各種機能を活用した「働き方改革」の実践により、教職員の時間外勤務を大幅に削減できた(図1)。



図1 教職員一人あたりの時間外勤務時間

1年前の同時期と比較してみるとその効果は非常に大きく、10月の教員一人あたりの時間外勤務は平均23時間も縮減。目標の45時間以内を維持している。

そして、授業準備や教材研究の時間は維持しつつ、時間外勤務を大幅に縮減できたことで、教職員の活力は高まり、児童と向き合う時間が増えるなど、良いところづくしである。しかも、全て無償。

また、保護者ボランティアを簡便に導入できるようになったため、児童・保護者・教職員で時間を共有し、信頼関係を絆を深めることができた。

さらに、課題のある児童への学習支援を手厚くできたことも大きな成果である。

4. 今後に向けて

現在、学校評価アンケートに欠かせない保護者アンケートを「Google フォーム」で行うこと、児童生徒介助員のシフト表を「Google スプレッドシート」で作成すること、遠足の記念写真や家庭学習プリントを「Google ドライブ」で提供すること等、様々な取組を実践しており、今後、その成果を検証していきたいと考えている。

また、本校では放課後に各種講座を設けて、教育活動の充実を図っている。

その案内チラシの右下にQRコードを記載し、申し込みは全て「Google フォーム」から行うようにしたところ、その簡便性が保護者に大



写真6 QRコード記載のチラシ

負担も大幅に削減できた(写真6)。

こうしたQRコードとGoogleの各種機能を活かすことで、さらなる教育活動の充実が図れる手応えを感じており、今後、研究を進めていく所存である。